
車いすチャリティマラソンを見て

4月23日、今年も車いすのチャリティマラソンが、昨年と同じ庄内緑地公園（名古屋市西区）で開催された。

本大会は、ランニングを通じて健康を求める健常者ランナーとハンディながら走り続ける仲間やボランティアの人達と共に励まし、交流しあうことを主旨に開催されているもので、今年で第6回目である。

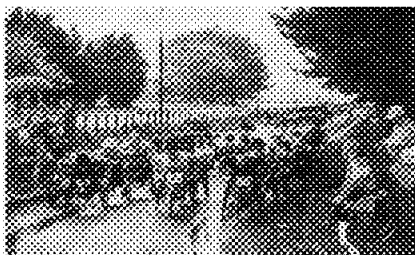
当日は、前日からの雨がそのまま降り続く悪コンディションの中、参加選手約500名（そのうちボランティア130名）、競技役員延100名の規模により競技が行われた。競技種目としては、ハンディキャップマラソンとマラソン

の2種目で、計11部門に分かれて優勝を競った。

しかし、結果的には勝敗にこだわることなく和気あいあいとした雰囲気の中に競技が進められた。優勝者の表彰途中に雨足がはげしくなり、大変な表彰式となった。

続いて、1km=1Yenという喜び税（詳しくは技研ニュースNo.139を参照）により、今年も足の不自由な人にマラソン用車いすが贈られた。

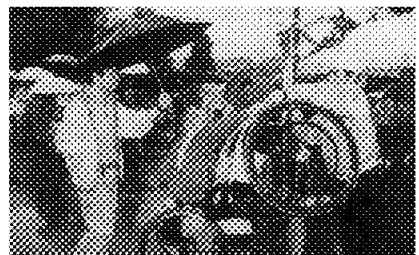
なお、本大会に技術研究所からもボランティアとして数名が参加した。



ハーフマラソン・スタート



取材に応じる女子優勝者



マラソン用車いす贈呈
